

窓口支援事例 【佐賀県 知財総合支援窓口】

企業情報

山口製茶園株式会社			
所在地	佐賀県伊万里市蓮池町45番地		
ホームページ URL	https://www.chakouan.com		
設立年	1971年	業種	茶・茶関連の菓子等の販売
従業員数	5人	資本金	100万円

企業概要

JR伊万里駅近くに店舗を構えており、近隣の方からは「茶」の販売については信頼を得ております。

伊萬里茶・嬉野茶・八女茶・鹿児島茶など、九州各地のお茶をメインに取り揃えており、ご家庭用や職場用・業務用から贈り物などに喜ばれております。

また、伊万里商工会議所（女性会）での事業活動を通じて、「伊万里」のブランド化の活動を行われています。



自社の強み

オリジナル商品・コラボ商品の開発を常に行い、地場の関連商品の販売もしており、「陶磁器：伊万里焼」とのコラボ製品が好評を得ています。前年に国際的な食品フェアへの出展を機に海外からの注文も増えております。

一押し商品

(国際的な食品フェアでの出展を機に海外からの注文も多くなり、下記商品を中心に販売も増加しています。)

- (1) 幸の極：「世界緑茶コンテスト2015」金賞受賞
- (2) ドリップティ：一般的なティーバッグと一線を画す本格的な味と香りを好みで抽出できる6タイプ



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

近隣の他地域に「同名」の会社が存在しているため、社名変更の希望があった。屋号を「お茶の茶幸庵」としていたことから商工会議所から「茶幸庵」の商標登録を勧められて、知財総合支援窓口を紹介されたとのこと。

最初の相談概要

屋号として使用していた「囃（茶葉）」+文字「茶幸庵」の商標出願相談である。商標制度について理解をしていただき、商標出願の為に他社商標の検索指導・調査支援を行った。出願を行われた2件の商標は登録商標として使用されている。

その後の相談概要

屋号の商標登録を機に、主力商品の商標登録を行われました。また、海外への販売が始まったため、商品名と屋号の商標出願を「外国出願補助金」を活用されて香港へ出願・登録されました。今後、アジア諸国での販売を希望する企業と販売契約等を行っていく必要があり、アジア諸国での知財の保護について検討をされています。また、飲用の茶の他に、菓子用の「粉末茶」も販売されており、「緑色」から「茶色」に変色しない技術があるかどうかについての調査の相談を行われました。自治体特許流通コーディネーターとの連携で佐賀県工業技術センターへの相談を引き続き行われています。

窓口を活用して変わったところ

同社は、知財総合窓口を利用されたことにより、他機関が行っている中小企業支援施策にも興味を持たれて活用を図られています。今後の事業展開に利用できる支援施策は積極的に利用したいとのこと。今後の新商品においても、事前に調査を行い、効率的な開発を行っていききたいとの事です。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

最初は商標出願等に関する相談で窓口を利用しましたが、結果として問題解決に弁護士・弁理士の方へ相談できた事は有りがたかったと思います。また、事業展開までの相談ができ、漠然とした不安を取り払うことができました。特許や商標などの知的財産に関する不安等がありましたら、知財総合支援窓口への相談をお勧めします。

窓口担当者から一言 (氏名：塚島 誠一郎)



一般的な商標出願相談から始まったお付き合いですが、海外への商品展開までを視野に入れての商標や意匠等の保護までを検討されるまで知財マインドが向上した事業所例だと思います。

窓口支援事例 【佐賀県 知財総合支援窓口】

企業情報

山口製茶園株式会社			
所在地	佐賀県伊万里市蓮池町45番地		
ホームページ URL	http://www.chakouan.com/		
設立年	1971年	業種	茶・茶関連の菓子等の販売
従業員数	5人	資本金	100万円

企業概要

JR伊万里駅近くに店舗を構えており、近隣の方からは「茶」の販売については信頼を得ております。

伊萬里茶・嬉野茶・八女茶・鹿児島茶など、九州各地のお茶をメインに取り揃えており、ご家庭用や職場用・業務用から贈り物などに喜ばれております。

また、伊万里商工会議所（女性会）での事業活動を通じて、「伊万里」のブランド化の活動を行われています。



自社の強み

オリジナル商品・コラボ商品の開発を常に行い、地場の関連商品の販売もしており、「陶磁器：伊万里焼」とのコラボ製品が好評を得ています。前年に国際的な食品フェアへの出展を機に海外からの注文も増えております。

一押し商品

(国際的な食品フェアでの出展を機に海外からの注文も多くなり、下記商品を中心に販売も増加しています。)

- (1) 幸の極：「世界緑茶コンテスト2015」金賞受賞
- (2) ドリップティ：一般的なティーバッグと一線を画す本格的な味と香りを好みで抽出できる6タイプ



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

近隣の他地域に「同名」の会社が存在しているため、社名変更の希望があった。屋号を「お茶の茶幸庵」としていたことから商工会議所から「茶幸庵」の商標登録を勧められて、知財総合支援窓口を紹介されたとのこと。

最初の相談概要

屋号として使用していた「囃（茶葉）」+文字「茶幸庵」の商標出願相談である。商標制度について理解をしていただき、商標出願の為に他社商標の検索指導・調査支援を行った。出願を行われた2件の商標は登録商標として使用されている。

その後の相談概要

屋号の商標登録を機に、主力商品の商標登録を行われました。また、海外への販売が始まったため、商品名と屋号の商標出願を「外国出願補助金」を活用されて香港へ出願・登録されました。今後、アジア諸国での販売を希望する企業と販売契約等を行っていく必要があり、アジア諸国での知財の保護について検討をされています。また、飲用の茶の他に、菓子用の「粉末茶」も販売されており、「緑色」から「茶色」に変色しない技術があるかどうかについての調査の相談を行われました。自治体特許流通コーディネーターとの連携で佐賀県工業技術センターへの相談を引き続き行われています。

窓口を活用して変わったところ

同社は、知財総合窓口を利用されたことにより、他機関が行っている中小企業支援施策にも興味を持たれて活用を図られています。今後の事業展開に利用できる支援施策は積極的に利用したいとのこと。今後の新商品においても、事前に調査を行い、効率的な開発を行っていききたいとの事です。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

最初は商標出願等に関する相談で窓口を利用しましたが、結果として問題解決に弁護士・弁理士の方へ相談できた事は有りがたかったと思います。また、事業展開までの相談ができ、漠然とした不安を取り払うことができました。特許や商標などの知的財産に関する不安等がありましたら、知財総合支援窓口への相談をお勧めします。

窓口担当者から一言 (氏名：塚島 誠一郎)



一般的な商標出願相談から始まったお付き合いですが、海外への商品展開までを視野に入れての商標や意匠等の保護までを検討されるまで知財マインドが向上した事業所例だと思います。

企業情報

山口製茶園株式会社			
所在地	佐賀県伊万里市蓮池町45番地		
ホームページ URL	http://chakouan.jp/		
設立年	1971年	業種	茶・茶関連の菓子等の販売
従業員数	5人	資本金	100万円

企業概要

JR伊万里駅近くに店舗を構えており、近隣の方からは「茶」の販売については信頼を得ております。

伊萬里茶・嬉野茶・八女茶・鹿児島茶など、九州各地のお茶をメインに取り揃えており、ご家庭用や職場用・業務用から贈り物などに喜ばれております。

また、伊万里商工会議所（女性会）での事業活動を通じて、「伊万里」のブランド化の活動を行われています。



自社の強み

オリジナル商品・コラボ商品の開発を常に行い、地場の関連商品の販売もしており、「陶磁器：伊万里焼」とのコラボ製品が好評を得ています。前年に国際的な食品フェアへの出展を機に海外からの注文も増えております。

一押し商品

国際的な食品フェアでの出展を機に海外からの注文も多くなり、下記商品を中心に販売も増加しています。

- (1) 幸の極：「世界緑茶コンテスト2015」金賞受賞
- (2) 限定商品（伊万里産）：日南郷茶（ひなたごうちゃ）
- (3) 「伊万里焼夫婦湯呑」：伊万里焼とのコラボ商品



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

近隣の他地域に「同名」の会社が存在しているため、社名変更の希望がありました。屋号を「お茶の茶幸庵」としていたことから商工会議所から「茶幸庵」の商標登録を勧められて、知財総合支援窓口を紹介されたとのことでした。

最初の相談概要

最初の相談は、屋号として使用していた「図（茶葉）」+文字：茶幸庵の商標出願相談です。商標制度について理解をしていただき、商標出願の為の他社商標の検索指導・調査支援を行いました。出願を行った2件の商標は、登録商標として使用されています。

その後の相談概要

屋号の商標登録を機に、主力商品の商標登録を行われました。また、海外への販売が始まったため、商品名と屋号の商標出願を「外国出願補助金」を活用されて香港へ出願・登録されました。今後、アジア諸国での販売を希望する企業と販売契約等を行っていく必要があり、アジア諸国での知財の保護について検討をされています。また、飲用の茶の他に、菓子用の「粉末茶」も販売されており、「緑色」から「茶色」に変色しない技術があるかどうかについての調査の相談を行われました。自治体特許流通コーディネーターとの連携で佐賀県工業技術センターへの相談を引き続き行われています。

窓口を活用して変わったところ

同社は、知財総合支援窓口を利用されたことにより、他機関が行っている中小企業支援施策にも興味を持たれて活用を図られています。今後の事業展開に利用できる支援施策は積極的に利用したいとのこと。今後の新商品においても、事前に調査を行い、効率的な開発を行っていききたいとの事です。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

最初は商標出願等に関する相談で窓口を利用しましたが、結果として問題解決に弁護士・弁理士の方へ相談できた事は有りがたかったと思います。また、事業展開までの相談ができ、漠然とした不安を取り払うことができました。特許や商標などの知的財産に関する不安等がありましたら、知財総合支援窓口への相談をお勧めします。

窓口担当者から一言（氏名：塚島 誠一郎）



一般的な商標出願相談から始まったお付き合いですが、海外への商品展開までを視野に入れての商標や意匠等の保護までを検討されるまで知財マインドが向上した事業所例だと思います。